

あいちの印刷

4

2017.4
No.545



五条川の桜とのおんぼり洗い（岩倉市）

もくじ

- 巻頭言「新たな季節への挑戦」 3
- 平成28年度
中部地区印刷協議会下期会議 4
- 全日本印刷工業組合連合会
知的財産権の取り扱いについて 7
- 愛印工組「印刷と関連業界互礼会」新春講演会より
「わが社の価値創造～新聞印刷三代のDNA～」
零細企業の奮闘記 8
- 愛印工組／理事会・支部長会
業界活性化の事業展開 11
- 全印工連・ダイバーシティ推進委員会報告
ダイバーシティを支えるワークライフバランス 11
- 日印産連／フジサンケイ ビジネスアイ
「明美ちゃん基金」に寄付 12
- トヨタ自動車工場見学
「お客様第一・トヨタ生産方式 2本の柱」 13
- 平成29年工業統計調査の実施について
製造業の実態を把握する基本資料 14
- 編集だより 14

人に 社会に 想いを カタチに

///O 愛知県印刷工業組合

FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フィルムは提案します—— 成長は、「省資源」から。
材料・工数・水・エネルギー・排出、
これまでの「コスト」を減らし利益に還元。
製版・印刷工程を軸にした、
独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が
あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

FUJIFILM
「減らす」がつくる、クオリティ **SUPERIA**

富士フィルム グローバルグラフィックシステムズ株式会社 中部支社 〒460-8404 名古屋市中区栄一丁目12番17号 富士フィルム名古屋ビル 052(201)8171 [ホームページ http://ffgs.fujifilm.co.jp](http://ffgs.fujifilm.co.jp)

RMGT

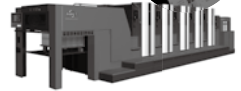
ともに、世界へ彩りを。

パイオニアとしての実力。

**LED-UV
PRINTING SYSTEM**

**RMGTは2008年から、
LED-UV印刷の市場を牽引しています。**

RMGTが2008年に世界で初めて発売したLED-UV印刷システム。
省電力の画期的なUV印刷システムとして革新を起こし、
短納期・生産性向上・環境印刷によって、
オフセット印刷の世界を様変わりさせました。
発売から9年が経過した今、LED-UVの先駆者として
蓄積したノウハウと技術力で
RMGTはオフセット印刷に関わる、
お客様の様々な課題に
お応えしています。



RMGT 10 1050LS-5 (菊全判5色印刷機)

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

中日本支社 〒468-0034 愛知県名古屋市長久方1-145-1 TEL 052-807-1671

<http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

優れた安全性と作業効率を実現して **ERCシリーズ誕生。**



**ERC
SERIES**



ITOTEC

イトテック株式会社

最新情報はインターネットで www.itotec.co.jp

Photo: eRC115DX

本社 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495 〒484-0912
東京支店 東京都板橋区中台1-31-1 TEL 03-5920-2161 FAX 03-5920-2171 〒174-0064
大阪支店 東大阪市荒本新町3-2-9 TEL 06-6618-5335 FAX 06-6618-5337 〒577-0022
四国営業所 愛媛県四国中央市新宮町上山3307 TEL 0896-72-2020 FAX 0896-72-2050 〒799-0302

福岡サービスセンター 福岡市東区箱崎ふ頭6-1-6 TEL 092-651-6031 FAX 092-631-1746 〒812-0051
札幌サービスセンター 札幌市中央区北一条西18-1 TEL 011-611-7221 FAX 011-611-7224 〒060-0001
新潟サービスセンター 新潟市横越中央1-11-10 TEL 025-385-2059 FAX 025-385-3701 〒950-0208
仙台サービスセンター 仙台市宮城野区岡田浦通1-132-7 TEL 022-258-1758 FAX 022-258-1793 〒983-0003

巻頭言

「新たな季節への挑戦」

経営革新委員長 野々村 昌彦

春の日差しに桜が映える季節となりました。経営革新委員会の野々村でございます。新たな季節に胸を膨らませ、不安と期待の混じった表情の新入社員を見ていると、温かな気持ちになるとともに、自らを振り返りながらも、支え、導かねばならないという気持ちになります。

周知のとおり、紙の値上げはもとより、郵便代、ダイレクトメールの代金等が、さらに6月には中部地区での新聞折り込み代金が値上がりとなります。広告を発注する企業にとっては販促経費が上がることとなり、印刷業界にとっては価格競争が今までに増して厳しくなる可能性も出てくることでしょう。このような課題には、企画力と価格設定の両方でさらなる工夫をしなければなりません。

一方、こうした日々の変化に目を奪われている間に、社会における情報媒体は大きく変化しています。私を含め、組合員の多くの方々は、子供時代、携帯電話など映画で描かれた近未来の姿だと思われていたことでしょう。携帯電話のサイズが変わり、スマホが広まり、今では携帯一つで買い物や電車の乗り降りさえもできるようになりました。現在、人間の形をしたロボットはテレビ番組で見かけるだけですが、東京オリンピックまでには日本の街角のあちこ

ちで見られるようになるといわれています。

その東京オリンピックが開催される2020年、世界の携帯の台数は60億台となり、身体に眼鏡やヘッドホンなどの機材をつけるだけで全く別の体験ができる仮想現実(VR)や、現実の風景にさまざまな情報が付加される拡張現実(AR)の市場が18兆円規模になると推測されています。まだ先の話だと思っていると、あっという間に当たり前の現実となりかねないのです。

こうした情報媒体の大きな変化ほど、私たちの業界に影響を与えるものではありません。しかし、目まぐるしい変化にうろたえたり、後ろ向きになっていては何も変わりません。社会が変わるということは、私たちも変化しなければならないのです。様々な変化に敏感でありながら、顧客のニーズを取り込む、より良い方策と経営革新について皆様と共に知恵を出し合いたいと思っています。

社会の変化を、桜の木は変わらず見守ってくれています。しかし、咲き誇り、散っていくその桜も、実は知らないうちに毎年大きく成長しているのです。

新たな季節の到来に、経営者として、前向きに挑戦する気持ちで伸びていきたいものです。

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひろがる「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社

中部支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-15-20 ie丸の内ビルディング12F Tel:052-218-7460

www.toyoink.co.jp

平成28年度中部地区印刷協議会下期会議



挨拶をする四橋会長

地区協の運営方法を見直し

事業承継支援センター開設

平成28年度中部地区印刷協議会（中部地区協／四橋英児会長・岐阜県印刷工業組合理事長）の下期会議（愛知県会議）が、2月24日午後1時30分より名古屋駅前のホテルキャッスルプラザで開催され、中部5県（愛知、岐阜、三重、富山、石川）の印刷工業組合執行部及び役員など60名が出席した。また、全日本印刷工業組合連合会（全印工連）から、細井俊男副会長（愛知県印刷工業組合理事長）、生井義三専務理事、オブザーバーとして（公社）日本印刷技術協会から花房賢研究調査部部長が出席した。司会進行は河原善高中部地区協事務局長（愛印工組専務理事）が務めた。（上段写真は全体会議の様相）

全体会議は、鳥原久資中部地区協副会長（愛印工組副理事長）の開催挨拶に続き、四橋中部地区協会長が、「全印工連では補助金を活用して著作権問題に取り組んでいる。皆さんもご存じのように、官公庁の入札に行くとき必ず仕様書に『全ての著作権は〇〇市役所に帰属する』と一言書かれている。このお陰で、全ての著作権が取られた状況になっている。もしくは、とられたような気になっている。全印工連の調査報告書を待ちたいが、著作者人格権、著作権については、はっきりさせなくてはいけない。これに関しては、議連などの力を借りないと出来ない部分があるし、この問題に関しては、声を大にして、政府、国、地方自治体をお願いしていきたい」と、著作権問題への関心を示し挨拶とした。

次いで、細井全印工連副会長が次のように述べた。

「昨年10月に開催した全日本印刷文化典ふくしま大会には全国から710名が参加した。この大会で中小印刷業の団結力、そしてパワーをアピールできたと思っている。

全印工連では、昨年5月に新しい執行部が誕生し、新しい事業や委託調査事業を受託するなど活発に事業展開を行っている。例えば、経営革新・マーケティング委員会では、検討を進めてきた事業承継支援事業がいよいよスタートする。また、オリックス自動車との提携による中古車リースやレンタカー、あるいはアクセスログ監視システムなど新しい渉外事業、技能検定製版職種DTP作業の実施。さらに、官公需における知的財産権の適切な処理については、経済産業省のコン

テンツ産業強化支援事業という調査事業を受託し、1月末には報告書がまとまった。この報告書を受けて、経済産業省からの知的財産権の適切な処理に関して、なんらかの施策が示されるものと期待している。

全印工連ではこれら以外に様々な事業を推進している。こうした事業を展開するには、組合員の皆様にしつかりと伝え、理解してもらうことが必要である。その事業を伝える一つが地区印刷協議会である。今、伝え理解してもらうために、その運営方法の検討を進めている。これまでの地区協では、全印工連の報告など一方通行のきらいがあった。また、その報告が工組内で広がっていれば問題ないが、必ずしもそうっていない。この点に問題があり、全印工連、地区協、工組が連携し、情報伝達をうまく行なって、組合員に対してメリットが打ち出せるようにしたいと考えている。特に分科会



細井全印工連副会長



生井全印工連専務理事

の運営では、報告が主体となったり各県の近況報告で終わっている。出席者が積極的に協議を行ない、意見を出し合い、その中から地域の意見を集約し吸い上げるといった機能がないのが現状である。そこで、分科会で訴えたいことやお願いごと、議論すること、報告することなどを明確に区分し、メリハリをつけた運営を心掛けていきたいと思う。要は、報告主体から議論、協議主体に変えることにより、事業への理解を深めてもらう。今後、全印工連でコンセンサスを得ながら、地区協の運営方法を考え、一番ベターな方法へ変えていきたいと思う」と、地区協の最適な運営についての検討を始めていることを明らかにした。

続けて、生井全印工連専務理事から全印工連の事業概要説明が行なわれた。

■全体会議前半

<参加及び依頼事項>

①事業承継支援センター開設と事業承継セミナー開催

国内最大級のコンサルタント会社である山田ビジネスコンサルティング(株) (YBC)と提携し、同社の中に事業承継支援センターを設け、そこで事業承継に関する相談や事業承継のコンサルタントを行なう。同社を選んだ3つの理由は、「①しっかりとしたコーポレートガバナンスがある。上場企業であり、社会的な信用、コンプライアンスも高い。②他のM&A会社、専門会社、税理士事務所と違い会計、税務、法律のプロフェッショナル集団であって、総合的なコンサルティングサービスができる。③全国にネットワークがある」。

全印工連は周知、啓発に徹する。組合員はYBC内の支援センターに連絡をして、問い合わせ及び相談をする。そして両方で合意したらYBCがサービス提供を行なう。組合員への特典は、通常発生する初期検討段階での費用が無料、また着手金、成功報酬も特別価格を適用する。

②CSR認定の募集

これまでにCSRワンスター認定が89社、ツースター認定が17社となっている。現在4月28日締め切りでワンスター、ツースターの募集を行なっている。そして今回から、スリースターの募集を開始する。このCSRについて、16の県工組がある中で、1社も認定を受けていないところがあるので、認定取得への積極姿勢を要請した。

<報告事項>

①経済産業省「コンテンツ産業強化支援事業」の受託及び推進(別項参照)。②官公需取引に関するアンケート調査の結果(別項参照)。③遠隔教育システムの導入。④ダイバーシティ「印刷業で働く多様な人財の活用」アンケートの結果。⑤第10回MUDコンペティションの審査結果。

<各種事業>

①オリックス自動車との提携による組合員限定サービス事業(中古車リース、レンタカー、カーシェアリング)。②アクセスログ監視システムの紹介。③オフセット印刷工場用VOC警報機の普及拡大。④クラウドバックアップサービス事業の普及拡大。

<今後の会合>

「2017全印工連フォーラム」の開催

開催日：10月6日(金)～7日(土)、開催場所：熱海後樂園ホテル。(※理事長会、事務局研修会、全青協各県青年会代表者会議を併催)。

■全体会議後半

<分科会>

休憩を挟み分科会が行なわれた。各分科会と報告者は以下のごとく。(なお、分科会における依頼事項、協議事項、報告事項については別項参照)。

□経営革新・マーケティング分科会/出村明委員長(石川県副理事長)

□環境・労務分科会/土井弘人委員長(三重県副理事長)

□組織・共済分科会/岩瀬清委員長(愛知県副理事長)

□教育・研修分科会/大洞正和委員長(岐阜県副理事長)

□取引公正化分科会/飴徹委員長(富山県副理事長)

□理事長会/水谷勝也理事長(三重県理事長)

各分科会、理事長会の報告後、ダイバーシティ推進委員会、CSR推進委員会から報告が行なわれた。この中で、CSR推進委員会は山田慎二委員(愛印工組理事)、ダイバーシティ推進委員会は近藤起久子委員(愛印工組)が行なった。

その後、質疑応答、四橋会長の下期会議纏めの後、楠行博副会長(富山県工組理事長)の閉会の挨拶で終了した。

四六半裁
OLIVER 480SD/SDP

LED-UV搭載

究極まで追求した
最新テクノロジーを随所に採用し、
更なる高品質・高生産性を実現。

オリバー480SD
四六半裁4色印刷機

大好評! オリバーSD/SDPシリーズ 菊半裁・四六半裁・菊全判の3機種

最高の製品をお届けすることで、
お客様の満足をお約束します

Sakurai
株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>



本社
〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)35-2551(代) FAX.(0575)35-2881

大阪営業所
〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146

 
ISO 9001:14001認証取得
生産技術本部



経営革新・マーケティング分科会



環境・労務分科会



組織・共済分科会



教育・研修分科会



取引公正化分科会



理事長会

分科会報告

※誌面の都合で各委員会の項目のみ掲載。

■経営革新・マーケティング分科会

□依頼事項＝①事業承継支援センターの開設と事業承継セミナーの開催。②共創ネットワーク通信の活用（機能強化）。③「ソリューション・プロバイダーへのステップアップガイド」セミナーの開催。

□協議事項＝①「ソリューション・プロバイダーへのステップアップガイド」の活用方法・事例研究。②共創ネットワーク通信への登録拡大に向けた施策について。

□報告事項＝①勝ち残り合宿ゼミの開催：2月17日～18日石川県金沢市。②経営情報の発信（各種セミナーの実施）：「ライオン(株)2016年秋新製品のマーケティング戦略」9月28日日本印刷会館。「Web to Print」11月21日日本印刷会館。「動画活用術セミナー」2月23日日本印刷会館。

■環境・労務分科会

□依頼事項＝環境マネジメントシステム認証・認定／①GP(グリーンプリンティング)認証・認定、②環境推進工場登録制度、③環境マネジメントシステム(ISO14000)取得支援事業。オフセット印刷工場用VOC警報器の販売。

□協議事項＝環境マネジメントシステム認証・認定の周知・啓発について。オフセット印刷工場用VOC警報器の普及拡大について。産業廃棄物の適切な処理、三六協定の締結についての周知・啓発方法について。

□報告事項＝①環境および労働関係情報の収集提供／グリーン購入法・調達判断基準など。②育児・介護休業法の改正。③地域別最低賃金の改定。

■組織・共催分科会

□依頼事項＝①共済加入促進キャンペーンの推進。キャンペーン期間（29年9月1日～30年3月31日予定）。キャン

ペーン対象制度(生命、設備、医療・がん予定)。②生命共済制度の更新処理。

□協議事項＝①共済加入促進キャンペーン地区ごとの重点工組の選定について／愛知県・富山県。②共済加入促進キャンペーンの展開について。③組合員加入の促進について。

□報告事項＝①各共済制度の加入状況。②組合員台帳調査の回収結果。

■教育・研修分科会

□依頼事項＝①次年度の技能検定制版職種DTP作業実施への普及・啓発。

□協議事項＝①技能検定制版職種DTP作業の受験者増に向けた取り組みについて。②印刷営業講座のカリキュラム改定について。③新教育システム（遠隔システム）の利用活用について。

□報告事項＝①技能検定制版職種DTP作業の実施状況：18工組191名。②印刷営業講座・管理印刷営業講座および同認定試験の実施。

■取引公正化分科会

□協議事項＝①官公需の制限価格。②著作権問題。

□報告事項＝①官公需は各県定期的に県・市の担当者と検討会。②著作権問題は各県とも定期的なセミナーの開催。営業マンの参加を進める。県や市の担当者を招く。

■理事長会

□協議事項＝①組合員増強。②ポスターグランプリ。③廃液処理。④三六協定

□報告事項＝①組合員企業数を増やすことより、組合員の社員数を増やすことに目を向ける。②第8回のポスターグランプリへの応募を各県で進める。③廃液、廃インキ等を違法なかたちで処理している企業へ、県工組を通じて注意喚起。④三六協定を締結して監督署に報告の義務を周知

平成28年度コンテンツ産業強化対策支援事業 (中小印刷産業の知財活用に関する調査事業)

全日本印刷工業組合連合会

知的財産権の取り扱いについて

全日本印刷工業組合連合会は、経済産業省より平成28年度コンテンツ産業強化対策支援事業(中小印刷産業の知財活用に関する調査事業)を受託したので、事業内容をお知らせ致します。

【背景と目的】

印刷業界では、昨今のデジタル化に応じた印刷の発注におけるニーズの変化により、単なる印刷物の製造だけでなく、企画・デザイン等も含めた発注が行われるようになってきており、印刷等の請負契約において、知的財産の取り扱いを適切に行うことが重要となってきている。

特に、国・自治体との契約数の多い地域の中小印刷会社においては、官公需を中心とした契約における知的財産権の整理や、その取扱いに通じた人材の育成が急務である。

このような観点から、官公需を中心とした印刷等の請負契約時に生じる知的財産権の取扱い等について調査・分析を行い、適切な契約のあり方について整理するとともに、中小印刷会社に対して情報提供を行うことが本事業の目的となる。

【実施方法】

①文献調査

書籍、論文、判例、報告書、インターネット情報等を利用して行う。

②ヒアリング調査

課題把握のため、国内の関係団体・印刷会社等10者程度に対してヒアリングを実施。

※ヒアリング予定都道府県：北海道・秋田県・埼玉県・岐阜県・和歌山県・島根県・高知県・鹿児島県・東京都(2)

③委員会の開催

印刷等の契約時に発生する権利処理に関する課題の整理・検討等を行うため、委員会を2回開催する。

委員長には、上野達弘早稲田大学法学学術院教授が就任予定、全印工連からは江森克治(神奈川工組副理事長・㈱協進印刷)、白子欽也(和歌山工組理事長・白光印刷㈱)、谷口博則(島根工組理事長・㈱谷口印刷)の3氏が委

員に就任。

④調査内容の分析・取りまとめ、調査報告書の作成

本事業の調査内容を総合的に分析し、その結果を調査報告書として取りまとめる。調査結果の分析・取りまとめに当たっては、法律的な観点からの整理・分析を十分に行うとともに、産業の慣習にも配慮しつつ、経済産業省担当者と事前に協議して作業を進める。

本事業で得た成果について、関係者に対して普及啓発する場としてセミナーを開催する。

【調査・委員会の内容】

①印刷等の請負契約における知的財産権の取り扱いについての概要

印刷等の請負契約全般(受発注文書、仕様書の内容を含む)の契約内容や知的財産権(本調査においては著作権、商標権、意匠権)の取り扱い等について調査する。調査は、条文や学説等の概要と取りまとめと判例等の収集・分析を行う。

②印刷等の請負契約における知的財産権の取り扱いの分類及び問題点等の整理

印刷等の請負契約における知的財産権の取り扱いについて、いくつかのケース(例えば以下の1～5)に分類を行い、それぞれの分類における契約上の問題点等を抽出・分析する。

- 1)発注者が権利を有する知的財産権を利用するケース
- 2)受注者が権利を有する知的財産権を利用するケース
- 3)第三者が権利を有する知的財産権を利用するケース
- 4)発注者・受注者・第三者の知的財産権を混在させて利用するケース
- 5)自治体の持つキャラクター等の権利を、受注者や民間事業者が活用するケース

③問題点等への対応方法

上記で整理した問題点等に対して、どのような対応を行えば適切な権利処理ができるか、上記で分類した項目ごとに契約時の配慮事項とベストプラクティスを委員会で検討する。

「わが社の価値創造～新聞印刷三代のDNA～」

零細企業の奮闘記

講師：
滝澤光正

全日本印刷工業組合連合会
副会長
滝澤新聞印刷(株)代表取締役



愛印工組は、1月13日名古屋東急ホテルにおいて平成29年新春印刷と関連業界新年互礼会を開催した。来賓・組合員・関連業者ら約300名が出席し新年を祝った。互礼会開催に先立ち行なわれた記念講演会では、滝澤光正全日本印刷工業組合連合会副会長が講師を務め、「わが社の価値創造～新聞印刷三代のDNA～」と題し、会社の生い立ちから現状、自分自身のこと、さらには、組合での活躍など、零細企業の奮闘記が紹介された。以下、その要旨である。(記念講演会は長時間にわたり行なわれたため、先月号と今月号の2回に分けて掲載した)。

(文責在記者)

新しい印刷産業へのリ・デザイン

■滝澤講師は、「産業戦略デザインの委員も続けており、このときに編集したのが2025計画という冊子である」と前置きし、「新しい印刷産業へのリ・デザイン」について説明を加えた。

■「今回の2025計画は、『新しい印刷産業へのリ・デザイン』というサブタイトルを付けた。これは一社一社がどうなるという話ではなく、印刷業全体がこうなっていかなければいけないのではないかと提言させていただいたものである。昨年の5月に発行し、全印工連の全組合員の皆さんに配布をさせていただいている。まだご覧になっていない方は是非ページをめくっていただきたい」。

「何故、印刷産業のリ・デザインが必要なのか。我が国における近代印刷業の起源はおよそ150年前にさかのぼるが、以来経済と文化の発展を支える中核的な産業として広く普及し、人々に印刷という仕事に対するイメージが形成されてきた。ところが、20世紀後半からのめざましい技術革新によって、紙媒体の担い手である印刷産業仕事に変化し多様化していった。にもかかわらず、一般の印刷イメージはあまり変わらないまま今日に至っている。例えば、印刷会社というと、封筒や名刺を刷っているイメージが強い。だから、『マーケティングリサーチもされているか?』と面と向かっていわれることは少ないと思う。しかし現実には、マーケティングリサーチも事業として行なっている印刷会社は全国にたくさん存在

する。取りも直さず印刷会社の仕事の実態が、以前から進化しているにもかかわらず、世間一般の人々の印刷に対するイメージとはかけ離れてしまっている」。

「この提言書は、印刷産業のリ・デザインの必要性を説いている。2025計画は文字通り2025年に向けて、私たち印刷業全体としてどういう形にならないといけないのかを考えている。実際の実態に追いつくだけでなく、さらに先の時代に求められることを予測し、事業領域を定義している。デザイン室の委員が自ら選考事例を取材して、あるいは議論して、ひとつひとつを検証しながらまとめ上げていったものである。印刷会社自らが印刷会社の未来の事業領域を確保するために、印刷会社の立場で書き上げた。これからも文化と経済を支える産業として日本の印刷産業が、もっと大きな姿に生まれ変わるために自らがどういった姿になっていかなければいけないのかを表している」。

「内容は5つの計画からなり、目標と2025年までの行動計画をあげている。例えば、環境ではグリーンプリンティング認定、これを組合員の20%の取得をめざすという目標を掲げている。地方創生についても、印刷会社がそのハブとなって地方創生に取り組んでいこうという話や、女性活躍、労働分配率50%以下にするとか、1人当たりの売上高を向上させよう、といった目標を立てている。ダイバーシティであるが、この言葉は最近ずいぶん聞かれるようになった。多様性ということであるが、男

**240線高画質高精細
カラー印刷を標準稼働中!!**

データから印刷・製本・発送まで
自社一貫体制でお引き受けします

大日印刷株式会社
☎0564-62-8461(代)
FAX 0564-62-8463

盛功社の創業は1889年。2016年に128周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいずえとして
新たな未来へ羽ばたきます。



●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料

株式会社 盛功社
〒461-0014 名古屋市東区榑木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
<http://seikosha-net.jp/>

性だけではなく女性、高齢者、障がいのある方、あるいは外国人、いろんな方がこれから人口減少の日本で、働き手としてご活躍いただかないといけない。こうした方々が日本の社会、職場に入ってこられるなかで、誰にでも同じ様に情報を届けるという考え方が必要になってくる。

例えば、メディアユニバーサルデザインの考え方は、大変重要である。CSRは、地域社会や地球環境の持続性を意識した経済循環の中で、やはり社会の要請に応えないと事業継続は難しい。一生懸命にCSRを意識して、これからも社会に愛される、社会に求められる企業、あるいは業界になっていかないといけない。この冊子は外部に発信してこそ価値がある。自分たちで作り、自分たちの内部だけで活用するという今までのものとは性格を異にしている。業界の考え方はこうなんだといったところを、ぜひ皆さんも地元地域に帰ってPRにお使いいただければと思う。

「今期に入り、新宿支部長を1期で卒業させていただき、東印工では副理事長を、それと同時に全印工連では細井理事長と一緒に副会長という役を頂戴している。産業戦略デザイン室の委員長を現在、拝命している。産業戦略デザイン室では、2025計画の普及啓発を一生懸命にやっている。また、数年したらその次のステップを考えていかなければいけないと思っている」。

今後の会社運営

■ 滝澤講師は、「会社はどうなっているのかという話だが、お客様に可愛がられながらも、規模の拡大をせず、従業員も14名のままで細々とやっており、業態変革もできておらず、このままではいけないと思っていた。それまでは、「零細企業だから」と自分自身のいい訳にしてきたが、「このままでは自社の行く末に危険を感じた」とし、その対応のために打たれた手段が解き明かされた。(CSRの取得に関しての手段が解説されたがここでは省略した)。

■ 「青年会とか親会などの委員会に出ている方々は、錚々たる会社の社長や上役の方である。そうした人たちと一緒に活動していく中で、「滝澤君の会社はどうなんだ」といわれるたびに「うちは、小さいですから」とずっといつてきた。でも、そうしていると自社の行く末は危ないと感じるようになった。環境は勿論、CSRの勉強をしていくと、今社会は何を求めているのか、ということに敏感に感じ取って、それに対応していかないと、やがて淘汰されてしまう。組合に出て行くことでそんなことに私自身は気がついた。志の高い仲間との出会いが刺激になった。何もしないままでは何も変わらない、変革は自ら行動を起

こしてこそのものだと思う。

例えばCSRでは、制度設計に関わったものとしての責任がある。自身が取得しなければ皆さんに対し説得力がないので、これは責任としてチャレンジしなくてはならない。本当は自社の変革をしないと先がないと思った。実際にチャレンジをしたが、実は各種認定制度は小規模企業ほど取得しやすかった。これはやってみて初めて分かった。GPやCSRなどの認定のためには多くの書類を作らなければいけない、大変だと思っていた。ところが所帯が小さいだけに「こうしようよ」といったことが直ぐに出来てしまう。これが大きな組織だと、経営者の思いや新しい決め事、今までと変わった取り組みをするときは、当然それなりに抵抗があると思う。こうしたことがなく、そこは小さい会社の方が小回りがきくと改めて感じた。私と同じ様に10人前後でまだチャレンジされていない方は、私共でもできましたので是非、チャレンジしていただきたい。これは取得した立場としてお奨めできるものである。

証を取ると他にも応用できるものが随分あるのではないかと考えている。このCSR認定を全印工連が始める時に、元会長の浅野さんから「会社の健康診断だね」とおっしゃっていただいた。もちろん、全ての皆さんがチャレンジすれば直ぐ出来るというものではないかもしれないが、改めて一度チェック項目を見ていただき、うちができていところに○を付けていただくと、おのずと自社の姿を改めて認識できると思う。自社のありのままの姿が健康診断と同じように、可視化できるシートではないかと思う。そういった使い方をさせていただき、さらに会社をもう少し発展させるために是非この認証制度にチャレンジしてみるかという方は、積極的にお申込みいただきたい。3か月ごとに期は切っているが、申込みは通年受け付けているので、是非、全印工連のHPをご覧ください。と思う。

零細企業でも社会の要請に応える必要性

■ 滝澤講師は、「私共では、一念発起して環境推進工場を登録した。うちの工場は環境にも手を付けていなかった。今も平台の単色機2台を回しており、職人は2人いる。うちは小規模だからという理由で、実は環境については熱心ではなかった」としたうえで、その取り組みなどについて披露する。

■ 「環境推進工場を登録して、有機溶剤の第2種を全廃した。第3種だけに廃液関係もきちんと業者に出し、適正な処理を心掛けるようにしている。第3種だけにしたが、未だにうちのオペレーター2人には有機溶剤の特殊健康診断を受けさせている。これは、法定外に求められる以上の健康診断をしている

紙でご愛顧70年

印刷用紙専門商社

メイカミ
meikami

名古屋紙商事株式会社
社長 鬼頭正二郎

名古屋市東区主税町4-83 〒461-0018
TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418
豊山配送センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL. (0568) 39-0501

特色データ管理システム(13000色以上)を構築し
特色印刷No.1を目指しています
筒札加工機6台に加え、最新大型筒札加工機を名古屋工場に導入!
さらにUVインクジェット印刷で、小ロット名入れ印刷も可能!

OFFSET PRINTING
社会印刷

UVインクジェット印刷
既設機への小ロット名入れ印刷

POST CARD・ENVELOPE
各種名刺・DM・封筒印刷・インクジェット

SEAL・筒札加工
シール印刷・筒札印刷加工

印刷ステーション
DAIKYU
株式会社 太急
〒460-0007 名古屋市中区新栄1-14-21
TEL.052-262-0555 FAX.052-262-1043
関連会社/ 岡太堂・(関)山川

ということである、これだけでもCSRがプラス1点加点される。そして翌年4月に、JPPSさらにGP認定も取得した。このあたり、だいぶ荷が重なって会社連中にも負担を掛けたが、みんな良く協力してくれたと思う。内心ではうるさいなと思っている者もいたかもしれないが、行なうと一度決めた以上、きちんと記録を取りながら日々更新をしていく。昔からマネジメントシステムにチャレンジしている会社では、そういう習慣が社員の皆さんや社内にも定着していると思う。私共では、私を含め社員も始めてであったので、「何でこんなに面倒くさいことをやるの」と思った。そのような中で、こういうことが必要だと伝え、結果的に従業員の皆も分かってくれた。やはり無理なことを強いているわけではないから、一人ひとりいわれれば「そうだよな」、「うちの会社も世間並みになったんだね」ということで、一人ひとりが自覚が芽生える。同時に、「会社の将来が少し不安だったけど、ちゃんと考えてくれているんだな。じゃあ、自分も貢献しよう」という忠誠心や誇りみたいなものができたのではないかと思う。それから、零細企業でも社会の要請に応える必要があるのだということを、いろんなエピソードなどを交えて私から社員のみんなに話した。社員も地域社会の一員であり、消費者でもある。そういった認識は、以前にも増して高まっているのではないかと思っている。

それから、改めてコスト意識、環境改善への再認識ということで、これも環境に気をつけるという事は、それなりにコストにも関わってくることで、注意すれば逆に無駄なコストは払わないで済むようになる。きちんと記録を取って、電気、水道にしてもそうだが見える化にすることによって、自分のこの一つの行動が省エネに反していないかという意識を一人ひとりが持つようになる。そういった意味でも改めて認識できたのではないかと思う。

取引先などについては、うちの場合は新規顧客の獲得に繋がった。皆さんにCSRをやりましょうといっても「そんなものやってもお金が掛かるだけで儲からないでしょ」という方がいるが、実際に私がCSRの認証を取ってHPにも描かせていただいたが、ある日電話を掛けてきたお客様が、東京証券取引所の一部上場の会社からで、社内報のお仕事だった。どうしてうちにお声掛けいただいたのか尋ねたところ、そのお客様も昨今CSRや環境問題に取り組んでいて、「事業的にも個人情報を扱う会社なので事故があっても怖い、コストよりも


しっかりとした対応をしていただける印刷会社さんをお願いしたかった」というお話をいただいて、今も定期的に社内報のお仕事を頂戴している。

信頼性向上、これは、冒頭に申し上げたように定期のお客様が多いので、放っておくとのおんべんだらり20年30年、お仕事をさせていただいている。有り難いことだが、そういうお客様がいる中で、私どもが「環境、個人情報、CSRの資格を取った」というと「滝澤さん、ちゃんとやってくれているね」と、「時代の要請に応じて対応してくれているね」とおっしゃっていただいている。それからお取引先である製本をお願いする会社さんやカラーの印刷は近くの外注さんをお願いしているの、そういう取引先ともきちんと個人情報や環境についてうちでやっていることを説明し、御社でも対応いただきたいとお話をする。そうすると当然、バリューチェーンの中での品質向上に繋がっていくと思う。結果、重い腰をようやく上げたのだが、まだまだこれで終わりではないが、零細企業でも得たまっとうな会社としての誇りというのは、必要だし、それも出れば非常にありがたい。経営者としての私だけでなく、従業員のみならずともこういう事が共有できるのではないかと思っている。

零細企業の奮闘記

■ 滝澤講師は、「全印工連のCSR認定制度、現在28年度12月現在でおかげさまで106社の皆さんに取っていただき、2スターが17社、1スター 89社ということである。今日お越しいただいた会社の皆さんもチャレンジをしてみたいかだろうか」と取得への挑戦を進める。そして最後に、組合活動で得た貴重な体験をまとめた。

■ 「組合活動を通じて、私自身、同世代の仲間、あるいは先輩方、あるいは優秀な後輩など、素晴らしい仲間とめぐり合うことができた。そうした繋がりのおかげで、いろいろな話や経験を聞き、自社だけでは取り組めなかった会社の変革に、遅ればせながら取り組むことができたと思っている。いろいろな用事を行なう中で、そのことが結果的に自分自身の糧にもなったと感謝している。世の中に認められて事業活動を通じて身の丈に合った社会貢献を続けるため、これからも頑張っていきたいと思っている。恥ずかしいながら零細企業の奮闘記としてお話をさせていただいた。何がしか皆さん感じていただけたところがあれば有り難いと思っている。」




天裁判

コニカミノルタに全てお任せください。

Giving Shape to Ideas

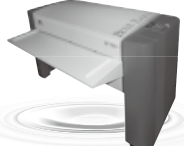
自校正



Fallbard AQUA®


環境対応プレート

ケミカルレスCTPシステム




BLUE EARTH®

デジタル印刷システム



bizhub PRESS
C1100/C1085



bizhub PRESS
C1070/C1070P/C1060

コニカミノルタ ジャパン株式会社 PPG営業統括部 中部営業部
※2016年4月1日より社名が変わりました(旧社名コニカミノルタビジネスソリューションズ株)

〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15
 三井住友海上名古屋しらかわビル11F TEL.052-229-4624(代)

業界活性化事業の展開 委員会活動を調整

愛印工組の平成28年度2月期理事会が、2月22日15時30分より、メディアージュ愛知3階会議室において開催された。理事会では、細井理事長を議長に、事務局より組合員の加入・脱退報告が行なわれた後、各委員会実施事業、今後の事業予定などが報告された。(出席者25名)。

理事会は、河原善高専務理事の司会進行で進められ、冒頭挨拶に立った細井理事長は、「業界を取り巻く状況は、「なかなか厳しい年であった。また、紙の動きも新聞などの発表では、値段が上がるような話が出ているし、折り込み価格はご存知のように上がってくる。これらが来期の業績の足かせとなって、我々の業界のトーンダウンならなければいいと思っている。業態変革が取り沙汰されているが、実際に、業態変革を実行に移していかないと、ギリ貧になってしまう。こうした差し迫った状況の中で、我々は、組合員が活性化していけるようにいろいろ提案をしていかなければいけない。例えば、ここにいる方達がモデルになってもいい。良い点を組合員の皆さんが汲み取り、それにより業態の変化ができる手段が見つければと思う」と述べた。

続いて、細井理事長を議長に議事に入った。

河原専務理事より、組合員の加入、脱退について、加入1と脱退1社が報告された。また、平成28年度決算見込みについての説明が行なわれた後、各委員会活動及び実施事業の報告に移った。

【委員会事業実施状況】

■三役直轄事業／鳥原久資副理事長が第8回ポスターグランプリについて、「学校などに案内をするため、例年より早くポスター、作品集を作成した」と報告。次いで、作品募集と協賛会社への協力を呼びかけた。次回テーマは「with」。作品展は11月14日～19日、愛知県美術館8階ギャラリー展示室E・F。

■ブランディング委員会事業／荒川壮一委員長が、光文堂新春機材展への出展結果、および、3月3日名古屋市立工芸高等学校へ進路講演、組合員の増強を目的とした組合パンフレットリニューアルについて報告。

■CSR・ダイバーシティ委員会事業／山田慎二委員長より、11月21日の勉強会と2月27日に行なう「働く人がイキイキ輝く職場づくり」勉強会・事例発表への参加を呼び掛けた。

■経営革新委員会事業／野々村昌彦委員長は、2月17日に行なわれたトヨタ自動車への企業見学会について報告。

■マーケティング委員会事業／久野彰彦委員長が2月3日の経営者と社員と一緒に学び&結果を出すセミナーについて報告。



2月理事会・支部長会

■教育委員会事業／磯貝健委員長より、製版技能検定試験(DTP検定)、テクニカルセミナー冬の陣、印刷後加工セミナーの実施報告後、2月24日に行なう「ゼロから始める見える化、セミナー」について参加者を募った。

■環境・労務・新人教育委員会事業／堀裕史委員長が、平成29年度新入社員研修会について、まだ余裕があるので、新入社員がいる企業ではぜひ受講をお願いしたいと呼び掛けた。また、断裁機取扱者特別教育「学科講習」を5月20日に行なうことを報告。

■組織・共済委員会／服部晋吾委員長が新年互礼会の結果、及び共済制度加入促進キャンペーンの延長を報告し、各支部での協力と支援をお願いした。

■青年部は、富田章裕理事が名古屋而立会は4月の総会において新体制になることを報告した。

続いて、各支部の取り組みが報告された。最後に、近藤起久子委員より、全印工連・ダイバーシティ推進委員会の活動報告が行なわれた。(下記に活動報告を掲載)

□全印工連・ダイバーシティ推進委員会報告

ダイバーシティを支える ワークライフバランス

近藤起久子委員

「全日本印刷工業組合連合会(全印工連)のダイバーシティ推進委員会では、取り組み範囲を「女性・高齢者・障がい者・育児介護従事者・二重就労・時短勤務者」に絞りました。とくに副業規定は従来に比べ必要性が高くなってきています。

「ダイバーシティ」と「ダイバーシティ経営」は違います。「ダイバーシティを大切にする」だけでは、「社会貢献」「社会福祉」になってしまいます。「ダイバーシティ経営」を考えると、「制度」「運用」「配慮」の3本柱で考えるべきです。そのため、全印工連のダイバーシティ推進委員会では、東印工組が作る「モデル就業規則」へのダイバーシティ施工規則などを組み入れる活動を始めました。ダイバーシティ経営を支えるのが、ワークライフバランスについての考え方です。一歩踏み込んで、この愛知で、意識を高めていきたいと思っています。皆さまのご協力をお願い申し上げます。

●日印産連／フジサンケイ ビジネスアイ 全国カレンダー展 チャリティーカレンダー販売金 「明美ちゃん基金」に寄付

(一社)日本印刷産業連合会(以下日印産連 山田雅義会長)とフジサンケイ ビジネスアイ(遠藤一夫社長)は共同で開催した「第68回全国カレンダー展」でのチャリティーカレンダーの販売金20万2千円と日印産連からの寄付金を合わせた50万円を、国内外の心臓病の子供を救う「明美ちゃん基金」(産経新聞社提唱)に寄付した。

寄付金は2月21日に産経新聞社本社(東京都千代田区大手町1-7-2)にて山田雅義会長から産経新聞社の熊坂隆光社長に手渡された。

【全国カレンダー展】

全国カレンダー展は、「企業の文化的メッセージを伝えるコミュニケーション手段」「人々の生活空間に潤いを与える印刷媒体」といわれるカレンダーの印刷技術や企画・デザイン力あるいは機能性や実用性に優れた作品を顕彰するコンクールで、今回、第68回を迎えた。毎年末に審査会が行なわれ、経済産業大臣賞、文部科学大臣賞を受賞した作品をはじめ、審査を通過したカレンダーが翌年初に東京、大阪の各会場で展示される。

2017年1月14日から1月18日までゲートシティ大崎(品川区大崎1-11-1)で開催された東京展では受賞した作品419点が展示され、来場者に上位賞に輝いた作品のチャリティー販売を行なった。5日間の会期中に202部を販売し、20万2千円の善意が集まった。

【明美ちゃん基金】

先天性の心臓病などに苦しみながら、経済的な事情で手術

を受けることができない子供たちを救うため、産経新聞社が提唱して設立された基金である。昭和41年6月、生まれつき右心室と左心室の間に穴が開いている心室中隔欠損を患い、「手術をしなければあと2、3年の命」と宣告されたものの、手術費用を賄うことができなかった鹿児島県の少女、伊瀬知明美ちゃん(当時5歳)の記事をサンケイ新聞(現・産経新聞)に掲載したところ、大きな反響とともに、読者から「明美ちゃんを救ってほしい」として多額の善意が送られてきた。寄せられた善意をもとに、産経新聞社は「明美ちゃん基金」を設立、明美ちゃんは適用第1例として東京女子医大付属日本心臓血管研究所で手術を受け、元気な体になった。国内で心臓病の子供への公的扶助が充実して以降は海外にも支援の輪を広げ、これまでに基金が救ってきた子供は国内外合わせ200人以上にのぼる。近年は国内で心臓移植を受けた子供への支援を実施。平成27年度からはミャンマーの心臓病の子供を救うため、医師団を派遣するなどして医療レベルの向上を目指す支援活動を始めた。活動資金は、すべて読者を中心とする一般の方々から寄せられる善意で賄われている。



日印産連山田会長(左)と産経新聞社熊坂社長

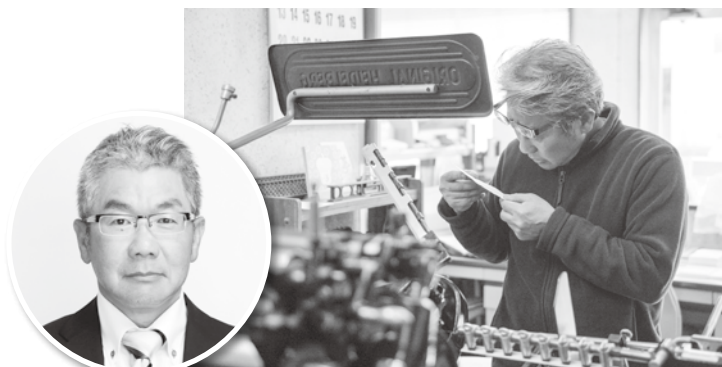
●活版印刷の魅力を発信／岡崎の昭和印刷 「プラテン」を駆使し、名刺・ 案内状・招待状などサービス開始

昭和印刷(株)(山本芳弘社長、岡崎市)は、今では希少価値のある活版印刷による印刷物のサービスを始めた。活版印刷は、紙の表面に凹凸の独特の立体感が得られ、その手触りに魅了がある。しかも、レトロでおしゃれな感覚、が受け、幅広い

世代で人気を集めている。

同社は1971年(昭和46年)に創業されたが、創業時はすでに活版の時代は去り、オフセット印刷が全盛の時代であった。40数年にわたり地元根付いた印刷会社として歩んできた。

一昨年6月に愛知県印刷工業組合岡崎支部(吉川正敏支部長(当時))の勉強会で、大阪で活版印刷を行なっている印刷会社の社長の講演や活版の印刷物に感銘を受け、「活版印刷の美しさに一目ぼれ」してしまう。その後、「自分の会社で行



山本芳弘社長

安定して印刷ができるまで試行錯誤を重ねた



活版印刷機で印刷された名刺や招待状など

ないたい」と、活版印刷機を探し、ドイツの印刷機製造メーカー・ハイデルベルグ社製の「プラテン」(中古機)を170万円で購入する。ところが、詳しい使い方がわからず、通常の業務を終えてから独学で技術をマスター。試行錯誤の結果、納得のいく印刷物ができるまで「数か月かかった」と振り返る。

初めて注文を受けた名刺300枚を納品したのが今年の3月。その後は、ウエディングカード、招待状などの受注も増えた。その理由について、「紙が持つ風合いや凹凸の独特の質感だけではなく、印刷物になった時の魅力は一度見ただけで記憶に残る」と特色を挙げる。今では安定した印刷ができるので、さらに凸版印刷の魅力を発信したいと、PR用のウェブサイトが開設さ

れた。

現代活版はデジタルデータを使い製版技術を活用して複雑な模様や毛筆の文字など鮮明に印刷ができる。「昔からある活版印刷と現代の技術を組み合わせることで、新しくオリジナルな印刷物を作ることができる。これも大きな魅力である」という。さらに、「いま、活版印刷を営業にしている印刷会社はほとんど見かけないが、一つの文化として社会に発信できたらいいと思う」。今後の課題はニーズをいかに掘り起こすかにある。

昭和印刷(株)の活版印刷について詳細はウェブサイト「愛知の活版」で検索。

トヨタ自動車工場見学

「お客様第一・トヨタ生産方式2本の柱」

経営革新委員会の平成28年度事業である企業見学会を、2月17日豊田市トヨタ町にあるトヨタ自動車にて総勢34名で視察しました。トヨタ自動車テクニカルセンター到着後、MS企画部林室長の案内により技術部を見学させて頂きました。

原価をどのように抑え、無駄をなくし、尚且つお客様が選んでもらえる車を作り、利益を上げるかを、トヨタでは日々研究しているということです。その中のひとつが競合他社の車の解体です。1ヶ月に1度、別メーカーの車が解体によって研究されており、見学の際に展示されていたのは、BMW、VOLVO、マツダでした。年間12台の他社製の新车が解体されているとのこと。徹底した解体で、どこが良くてどこが工夫されているか等、細かな部品までチェックされています。他社の動向や改善策設計思想まで研究されており、これが無駄を省く改善をし、他社に負けない売れる車を作り、利益を出していく会社だと思えます。解体見学後、場所をトヨタ会館に移し昼食を頂きました。その間も林室長が同席して、色々な質問を受け付けて頂き、有難うございました。昼食後、バスで元町工場に移動し、自動車の組み立てラインを見学させて頂いた。

元町工場は、1959年に初代クラウンの生産工場として操業を開始しました。そのあと1961年パブリカ、68年にはコロナマークIIの生産を開始。2014年には燃料電池自動車ミライの生産が始まりました。現在年間約7万台を生産しており、プレス、溶接、塗装、組立の4工程をこの元町工場で行なっています。また、トヨタ生産方式について説明を受けました。トヨタ生産方式とはお客様のニーズは常に化する為、生産も柔軟に対応しています。お客様を第一に考え、高い品質、短く確実な納期、高い生産性を追及しています。それを実現しているのは、「トヨタ生産方式2本の柱」です。必要なものを必要な時に必要なだけ生産

するジャストインタイムと、品質は従業員自らが各工程で作る。この2本柱で生産しています。

現在、注文をもとに生産計画を立て複数の車種を生産しており、クラウン、マークX、レクサスGS、ミライを1つのラインで複数の車種を生産する交流生産をしています。今回の見学でも、ライン上は3車種が生産されていました。

生産ラインでは一定のスピードで車が動いており、そこに部品やパーツを取り付ける工夫がされています。また、部品箱も同じように動くようになっており、取りに行く手間を省いていました。どこかでエラーが出れば全て止まり、解決されるまで動かない仕組みとなっています。

このように組立ラインでも色々な無駄を無くす工夫がされており、ここにトヨタの利益の出る仕組みが見えた気がします。

トヨタ会館に戻り、色々な車の展示見学、試乗等をさせて頂きトヨタ工場を後にしました。



トヨタ元町工場見学の一行

平成29年工業統計調査の実施について

製造業の実態を把握する基本資料

□愛知県県民生活部統計課より 「平成29年工業統計調査」実施での広報 依頼

愛知県県民生活部統計課長より、6月1日現在で実施される「平成29年工業統計調査」における広報依頼がありましたのでお知らせします。

「経済産業省は、『平成29年工業統計調査』を本年6月1日現在で実施します。本調査を円滑に実施するため、国においては、各種産業団体、NHK、日本税理士会連合会等への広報依頼を行なっております。

本県もこれに呼応し、各市区町村へ広報紙への掲載依頼、及び新聞等での広報を実施する予定です。つきましては、「平成29年工業統計調査」の実施を周知し、調査対象事業所に調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただくことが重要と考えておりますので、貴団体で発行される広報紙等においても、調査実施前の4月又は5月の時期に添付いたしました「広報資料」を参考とした広報を実施していただき、調査への協力を呼びかけていただきますようお願いいたします」。

□「製造業」の皆さまへ 「平成29年工業統計調査」への回答依頼

「平成29年工業統計調査」を平成29年6月1日現在で実施します。

この調査は、我が国の「製造業の実態」を明らかにすることを目的に、年に一度全国規模で経済産業省が実施する重要な調査です。「ものづくり」の愛知県は「製造品出荷額等」が38年連続全国第1位です。

【43兆8,313億円(全国に占める割合14.4%)：平成26年工業統計調査(確報)従業者4人以上の事業所】

調査の実施に当たり、本年5月頃、統計調査員が各事業所まで調査票をお届けします。(一部事業所では、経済産業省から直接郵送で届きます)。

調査票への回答よろしくお願い致します。

※「工業統計調査」実施に関する情報：「Web統計あいち」(<http://www.pref.aichi.jp/toukei/>)で検索。

※問合せ先：愛知県県民生活部統計課 工業統計グループ TEL052-954-6106
FAX 052-961-2194

□平成29年工業統計調査の実施の目的

経済産業省が実施する工業統計調査は平成29年調査から調査日が6月1日に変更になった。

①調査の目的

工業の実態を明らかにし、工業に関する施策の基礎資料を得ることを目的としている。

②調査の根拠

統計法に基づく「基幹統計調査」として、工業統計調査規則によって実施される。

③調査の期間

平成29年工業統計調査は平成29年6月1日現在で実施。

④調査の範囲

工業統計調査は製造業に属する事業所を

対象としており、全国の従業者4人以上の製造業の事業所(製造加工をしていない管理補助的業務のみを行なう本社等を除く)

を対象に実施。

⑤調査の方法

調査票は、都道府県知事が任命した統計調査員(又は直接郵送)が各事業所に届ける。調査票には、甲票(従業者30人以上の事業所用)と乙票(従業者29人以下の事業所用)の2種類がある。

調査事項について回答された調査票は、指定の期日までに統計調査員に(郵送により配布された調査票については同封の返信用封筒にて郵送)提出。

今回の調査から、調査員調査対象事業所(新設事業所等を除く)も、インターネットによる回答が可能になった。

⑥調査の利用

工業統計調査は製造業の全体像を把握し、その構造を分析するための基本的な統計であり、国や都道府県の施策立案の基礎資料、二次統計の作成のための基礎資料となるのみならず、民間企業や大学など以下のように幅広く利用されている。

- 国や都道府県の施策立案の基礎資料
- 二次統計等の作成のための基礎資料
- 企業や大学での利用
- 国際連合統計部、経済開発協力機構(OECD) 統計局への提供資料等の国際比較の資料
- 各種調査の標本設計等の母集団

編集だより

□今月の表紙には愛知県岩倉市の春の風物詩である五条川の桜とのんぼり洗いで飾ってみました。もう間もなく桜も満開になり春本番です。□中部地区印刷協議会下期会議の様子を詳報しました。今後、会の運営方針が見直されるということです。組合員のメリット享受のためにはどのような手段が一番ベターなのか、次回、富山でのニュー地区協の登場に期待が高まります。

あいちの印刷

No.545

平成29年4月10日発行

発行人

編集

発行所

〒461-0001

細井俊男

組織・共済委員会

愛知県印刷工業組合

名古屋市東区泉一丁目20番12号

メディアージュ愛知1階

TEL (052) 962-5771

FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

美しさ・誠実・挑戦

お客様に企画、デザインを通し、
真の感動を提供出来る様、
常に進化し続ける企業を目指します。

グラフィックデザイン	Graphic design
ウェブデザイン	Web design
セールスプロモーションデザイン	Sales promotion design
エディトリアルデザイン	Editorial design
アドバタイジングデザイン	Advertising design
オンデマンドプリンティング	On-demand printing

adWISE

株式会社 アドワイス

〒451-0062 名古屋市西区花の木1-16-18 花の木ハイツ1F

TEL 052・523・1257 FAX 052・523・1258 E-mail: ad-wise@ad-wise.biz

heart

人から人へ心を伝える ハート紙製品



グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社

URL: www.heart-group.co.jp



インバウンドを
ビジネスチャンスにつなげる。



モリサワは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

インバウンド対応情報発信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス

チラシ、パンフレットなど、あらゆる
コンテンツを多言語化し、スマート
フォンやタブレット端末に向けて、
配信するクラウドサービス。

詳しくは

www.morisawa.co.jp

●記載されている会社名・商品はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

Axuas

私たちは、地球に優しい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。

次の世代に豊かな地球を残し、
皆様の幸せに貢献する企業でありたい。



紙・包材・LEDの
株式会社

アクアス

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号
紙営業本部 TEL(052)220-5511 IP電話(050)3533-5511 FAX(052)220-5522
Home Page <http://www.axuas.jp> E-mail info@axuas.jp



キングは 印刷会社の パートナー

詳しくは



Printing
Supply

封筒用紙・名刺用紙・
ハガキ・包装用資材

Printing
Promotion

カレンダー印刷・名入販促物
(クリアホルダー、ふせん等)

Printing
Support

業務支援アプリ・
営業支援アプリ

Printing
System

名刺作成システム
(ソフト、プリンター、裁断機)

king 株式会社キングコーポレーション

本社 / 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目7番23号 TEL 052-961-7661 (代)

全国15拠点を
サポート

名古屋本店 / 東京支店 / 大阪支店 / 福岡支店 / 仙台支店 /
さいたま支店 / 横浜支店 / 静岡支店 / 金沢支店 / 神戸支店 /
広島支店 / 鹿児島支店 / 札幌営業所 / 青森営業所 / 浜松営業所

成長へのギアチェンジ

Future **to be** Fact.
未来を事実に変えていく

KOBUNDO

KBD NEW PRODUCTS

フィニッシングソリューション

KBD MOLLシステム

FOLDER/GLUER/INSERTING/TAPING

ポケットホルダー、封筒、ルームキーカードホルダー、
ボトルパッケージ、小包パッケージ、CDスリーブなど
様々な形状のパッケージの加工が可能です



印刷機側設置型 刷り出し・抜き取り検査装置

KBD Micro-vision[®] 2

マイクロ・ビジョン2

刷版データとの比較により、刷り出しでの品質チェック
要項をすべて満たした高精度
スタートプレス検査装置



高性能テーブルトップ型ロボット自動2液式ウレタン樹脂盛機

KBD ポッティングマシン

Automatic potting machine



スマートフォン、キーホル
ダーやバッグハンガー、ク
リップや各種ノベルティに
ひと工夫を。ポッティング
することで他社とは違う、
オリジナリティあふれる一
品を作ることができます。

透明な樹脂のドームで
販促ツールに立体感と高級感の
付加価値を!!



卓上スジ押し/ミシン機

KBD クリストリーム ミニ

パンフレットが簡単操作でキレイに仕上がる
必要ロットや機能から選べる3グレードのラインナップがあり、
製本工程での時間短縮・コスト削減に大きく貢献します。



印刷機材の総合商社
株式会社 光文堂

本店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山三丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社 / 東京 支店 / 東北・静岡・大阪・北九州・福岡 営業所 / 北海道・青森・山形
千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・金沢・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄